

Rotary  
District 2790



世界に希望を生み出そう

RID2790第2G 船橋RC

国際奉仕委員会 委員長 狩野文夫  
副委員長 田中 保生

## 『ボランティアから見る船橋市の国際交流

### ～災害時の外国人支援について～』

船橋市国際交流協会 副会長兼事務局長

(公社) SL 災害ボランティアネットワーク代表理事 片桐 卓 (たかし)



## 紹介

- 1950 (昭和 25)年 1 月 7 日 新潟県生 船橋市三山 9 丁目 44-1
  - Email [katagiri-sl@silk.ocn.ne.jp](mailto:katagiri-sl@silk.ocn.ne.jp) TEL 090-1774-3274
  - 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク 代表理事 片桐 卓
- TEL : (03) 6822-9900 FAX : (03) 3556-8217  
〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-15-2
- (公社) SL 災害ボランティアネットワーク 理事 (千葉県会長)
  - 船橋SL (セーフティリーダー) ネットワーク 代表 TEL : 047-474-7685

2002 (平成 14)年災害救援ボランティア推進委員会の講座を受講し SL 会員となる。

2007 (平成 19)年、船橋 SL (セーフティリーダー) ネットワーク設立・顧問

2014 (平成 26)年、(公社) SL 災害ボランティアネットワーク理事就任

(公社) SL 災害ボランティアネットワーク 理事 (千葉県会長)

2022 (令和 4)年、(公社) SL 災害ボランティアネットワーク代表理事就任

船橋市国際交流協会副会長兼事務局長  
船橋市英語教育推進委員会委員などを務める  
船橋市男女共同参画推進委員会 副会長 などなど

### ■船橋市で暮らす外国人

19,521人 令和5年4月1日現在  
総人口の3%を占めている船橋市の特性や、法改正により今後もさらに増加が見込まれる。  
海外との交流から多文化共生へ  
日本の多くの市町村で姉妹都市交流が国際都市としての象徴。  
現在は外国人が増え「生活者」としてまた、地域産業の担い手として欠かせない存在。  
在住外国人との「共生」にむけた国際化への対応が急がれる。

### ■船橋市の外国人の在留資格は

永住者  
技術・国際業務  
家族滞在  
留学  
日本人の配偶者等。

### ■多文化共生ってなあに？

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

### ■姉妹・友好都市との交流

- 米国 カリフォルニア州 ハイワード市  
1986年（昭和61）年に姉妹都市提携、サンフランシスコの  
ベッドタウンで人口14万人ほどの港湾都市です。  
産業は農業、酪農、製缶業が盛んで文教都市としても有名
- 中国 西安市  
友好交流促進合意 1988年（昭和63）、友好都市 1994年  
（平成6）に提携、3100年の歴史を持つ古都で、  
中国西北地方最大の都市。この地方の政治、経済、産業、  
文化の中心地
- デンマーク オーデンセ市  
1989年（平成元年）姉妹都市提携、有名な童話作家  
アンデルセン生誕の地です。商業港湾都市として栄え、  
現在は酪農や花・野菜の温室栽培、造船、鉄鋼他が盛んな近代都市。

## ■船橋市国際交流協会の主な活動

- ・ インターナショナルフェスティバル（年 1 回）
- ・ 姉妹・友好都市との相互訪問（訪問使節団を編成）
- ・ 国際理解セミナー
- ・ カリフォルニア州立大学イーストベイ校への留学生派遣、同校への高校生海外研修派遣
- ・ 外国人との親睦イベント
  - バス研修、潮干狩り、各国料理教室など
- ・ 日本語教室、地球っ子（子供日本語教室）
- ・ 外国人相談窓口
- ・ 災害時の外国人支援サポーター研修
- ・ 日本語ひろば
- ・ 協会ニュース、ようこそ（生活情報紙）の発行
- ・ ホームページによる情報発信

## ■国際化啓発・広報部会

- ・ 国際理解セミナーの開催
- ・ 各種講演会の開催
- ・ 外国語講座の開催
- ・ 「協会ニュース」の発行
- ・ 「ようこそ」の発行
- ・ 協会ホームページへの掲載・更新
- ・ メールマガジンの発行

## ■交流・相互理解部会

- ・ インターナショナルフェスティバルの開催
- ・ 姉妹・友好都市との相互訪問
- ・ 留学生および、高校生の海外研修支援
  - カリフォルニア州立イーストベイ校
- ・ 外国人との交流イベントの開催
  - バス研修
  - 各国料理教室

## ■外国人支援部会

- ・ 日本語教室
- ・ 地球っ子（子ども日本語教室）
- ・ 外国人相談窓口
- ・ 日本語ひろば

## ■日本語ひろば

- ・ 日本語教室で勉強した日本語を話せる場を
- ・ 自分の日本語が通じるか試してみたい人に
- ・ 現在は、対面とオンラインで活動しています。
- ・ 日本人ボランティアも一緒に企画を立てています。
- ・

## ■災害時外国人支援サポーター

- ・ 春 : 防災体験ツアー
- ・ 夏 : サポーター養成講座、外国人宿泊訓練  
(サポーター実習)

船橋市総合防災訓練に合わせて行う

- ・ 秋 : 防災タウンウォッチング  
令和5年11月25日 サポーター養成講座開催  
令和6年 1月21日 外国人防災講座

## ■事務局

- ・ 総会の開催
- ・ 理事会の開催
- ・ 地域会議の開催
- ・ 八市国際交流協会連絡協議会の開催
- ・ 運営会議の開催
- ・ ボランティアの紹介・派遣・受け入れなど
- ・ 外国人のアンケート調査
- ・

## ■災害

災害が発生したら、外国人は要配慮となります  
その支援を行うのが「災害時外国人支援サポーター」です。

## ■災害時外国人支援に対する市の対応

- ・ 「災害対策本部」の立ち上げ
  - ・ 震度5強以上の地震が発生
  - ・ 東京湾内に津波警報の発令
  - ・ 東海地震予知情報の発表
  - ・ 本部長が必要と認めたとき
- ・ 「国際ボランティア班」の設置
  - ・ 災害対策本部内に設置
  - ・ 統括責任者：市長公室長
  - ・ 担当責任者：国際交流課・協力：船橋市国際交流協会

## ■多言語支援センターとその役割

- 船橋市災害対策本部国際ボランティア班と国際交流協会が協力して外国人を支援する。
- 役割
  1. 外国語の通訳
  2. 災害対策本部または、関係機関からの情報収集・整理・各言語への翻訳
  3. 他機関との連絡調整
  4. 相談窓口
  5. 避難所への巡回ルート決定、巡回班の編成
  6. 被災者、支援者のリスト作成

なぜ、支援センターが必要なのでしょう

- 避難所にいる外国人被災者は、言葉・食べ物・文化・生活習慣などの違いから、日本人と違ったストレスを感じる。
- 避難所での孤立・他の被災者とのトラブルなどが生じる  
⇒ このような事態に対応するために、関係部署が連携しながら外国人被災者のニーズに対応して多言語・やさしい日本語などで災害情報の発信や避難所巡回を行う支援拠点が「災害多言語支援センター」です

## ■災害時外国人支援サポーターの役割

1. 多言語支援センターの巡回計画に基づき、避難所の巡回を行う。
2. 被災外国人の把握
3. ニーズの聞き取り
4. 多言語支援センターからの情報の伝達、チラシなどの配布
5. 避難所で掲示している情報から、外国人に必要な情報を収集し、提供する。

## ■やさしい日本語

- 船橋市には、約 19,000 人の外国人が生活をしている。
- 外国語の堪能な人は限られている。多言語にするにも限界がある。
- 私達市民で、災害の時に手助けできる手段はないだろうか。
- 日本語学習者が初期に学ぶ約 2,000 語の語彙と単文を主体とした単純な構造となっている。

- 日本語による公的な情報は難しい日本語が多い。
- 災害時には、情報が生活の支えになる。

#### ■やさしい日本語のポイント

「伝える相手」の文化、習慣や知識を理解した上で「伝える内容」の背景、知識の説明を加えながら、次の行動を示す  
次のように思うだけで良い

知っているはず : 知らないかもしれない?

わかってるだろう : わからないかもしれない?

できるはず! : できないかもしれない?

#### ■協会への問い合わせ

- 船橋市国際交流協会事務局
- (船橋市役所 11 階国際交流課内)
- 〒273-8501 船橋市湊町 2- 10- 25
- 電 話 047-436-2083
- F A X 047-436-2089
- WEB SITE <http://fira.jp>